

ゆのしらせ

12月22日(木) ゆず湯を実施します

12月22日(木)の冬至の日に、今年もゆず湯を実施いたします。一年で最も昼の時間が短いとされる冬至にゆず湯に使って、しっかりと身体を温め、癒してみたいかがでしょうか？実施当日は「森の湯」「濁の湯」両方の浴場がゆず湯での準備となります。なお、ゆず湯によって設備が故障に故障や不具合のおそれにより、急遽中止となる場合がありますので予めご了承ください。

発行・企画
加賀片山津温泉総湯公園
5・8・11・2月
年4回発行
(発行月の20日頃発行)
本紙に関するお問い合わせは
加賀片山津温泉総湯公園
TEL 0761-74-0550
ホームページ
<https://sou-yu.net>



ゆず湯の由来は？

ゆず湯に入る習慣は、銭湯が登場した江戸時代からといわれております。二十四節季のひとつで一年で昼の時間が最も短く、夜の時間が最も長いのが「冬至」です。

ゆず湯は、江戸時代より、「ゆず湯に入ると風を引かずに冬を越せる。」といわれ、親しまれてきた風習です。

その由来については「柚子↓ゆず↓融通がきく」と「冬至↓とうじ↓湯治」と語呂合わせから来ているといわれており、最も夜の長い冬至に「湯治で何事にも融通がきくように」と始まったものと言われているようです。

また、ゆずの香りで邪気を払って健やかに暮らせるようにとの意味を持つと説もあるようです。

今回紹介したのものについては、一説であり、事実を断定するものではありませんので予めご理解ください。

年末年始も平常通り営業します

片山津温泉総湯の年末年始の営業については、平常通りの営業となります。年末年始も連日、午前6時から午後10時まで営業しております。

例年、12月31日の大晦日は一年でも利用者が非常に多い日となります。一年の疲れを温泉で癒される方、中には大掃除で風呂場をきれいにしたから新年まで使用したくないから来館したという方まで、様々な利用者が来場されます。

新年1月1日も平常通りの営業時間となります。こちらが初風呂の方などで多くの方が来場されます。

片山津温泉総湯は、皆さんのお正月休み中も、平常通り営業しており、気軽に利用できます。年末のお風呂納めや年始の初風呂に利用してみたいかがでしょうか？



総湯の新年の風物詩 消防団出初式が開催されます

例年、当施設の駐車場を利用して開催されております消防団出初式が、来年も1月8日(日)に開催されます。新年の風物詩となっておりますが、出初式ですが、一番の見どころは厳寒の中、執り行われる裸放水です。その勇壮な姿は年年初にふさわしいもので、特にコロナ禍に見舞われている昨今では、鬱蒼とした雰囲気払いのけるような気がします。

令和5年度、消防団出初式は令和5年1月8日(日)午前中に実施の予定です。当日は当施設内の駐車場に制限がかかりますので、お越しの方についてはご不便をおかけしますがご了承の程よろしくお願いいたします。

総湯の湯温調整について

11月に実施した 改修工事について

片山津温泉総湯では、温泉100%での営業をしております。現在の片山津温泉総湯の浴槽の湯温調整については、浅湯41〜42℃深湯42〜43℃で営業しております。昔ながらの熱いお湯に慣れた方にはやや物足りないかもしれませんが、小さなお子様や、初めての方でも無理なく使用していただけるための設定となっております。また、冬場は外気温との差が大きく急な高温浴はヒートショックの危険が増加しますので、現在の設定となっております。より熱い温度をお求めの場合は、かけ流し付近が最も高温となっております。かけ流しは常時50℃程度で注がれております。逆に熱いのが苦手な場合は、かけ流しからできるだけ離れた浅湯をご利用ください。

特に、冬場はシャワー使用量が大幅に増加し、故障を抱えたままでは、給湯量が不足する(シャワーからお湯が出なくなってしまう)おそれがあり、本格的な寒さが来る前のこの時期での実施となりました。

長期の休業で利用者の方にはご迷惑をおかけしましたが、円滑な運営のためご理解とご了承をお願い申し上げます。